

# CASBEE<sup>®</sup>-建築(新築)

# 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	令和2年度市営下山門住宅(その2)	階数	地上10F
建設地	福岡県福岡市西区下山門団地1038	構造	RC造
用途地域	第1種中高層住居専用地域、法22条	平均居住人員	250 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	事務所・集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年9月 予定	評価の実施日	2020年3月25日
敷地面積	3,633 m <sup>2</sup>	作成者	栗栖俊行
建築面積	648 m <sup>2</sup>	確認日	2020年3月26日
延床面積	25,781 m <sup>2</sup>	確認者	青山謙治



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.1** ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです。

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

#### Q 環境品質

##### Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.1

##### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.1

##### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.7

#### LR 環境負荷低減性

##### LR1 エネルギー

LR1のスコア= 2.9

##### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.4

##### LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.7

3 設計上の配慮事項		
総合	周囲は低層の住棟が立ち並ぶ団地のため、周囲の景観に配慮した色彩とし、敷地内の緑化を計画した。	その他 0
Q1 室内環境	建築基準法を満たし、かつ規制対象外となる建材をほぼ全面的に採用している。	Q3 室外環境(敷地内) 可能な限り緑化を行った。
LR1 エネルギー	省エネ法(新基準)に適合する仕様としている。	LR3 敷地外環境 適切な駐車スペースを確保している。
Q2 サービス性能	福岡市福祉のまちづくり条例の基準を満たし、住宅性能評価基準:3劣化の軽減に関すること の項目において等級3を取得予定。	
LR2 資源・マテリアル	リサイクル材料を内装材に使用している。再生クラッシュを採用。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される